

【学校の教育目標】
生き方を求めて学ぶ生徒

《重点目標》
 自ら考え行動する
 考えを吟味し判断する
 他者を尊重し協調する
 よりよいものを創造する

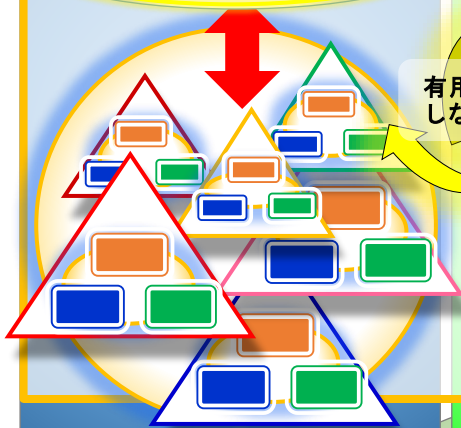
豊かな対話を求め、確かな学びに向かう生徒

対象世界、他者、自己との3つの関係の対話の中で、学習内容を再構成しながら、
 資質・能力を発揮し、教科等を学ぶ意味を見いだすことができる生徒

資質・能力の高まりの実感

なりたい自分の姿

資質・能力の高まりの実感

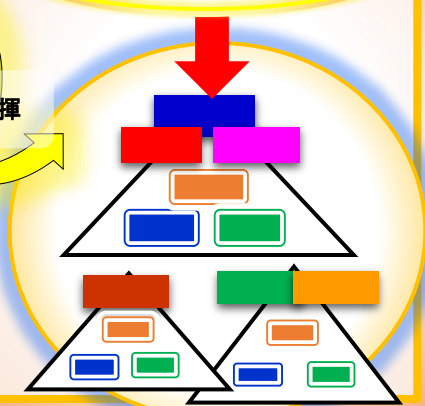


有用性を実感しながら発揮

人間性

繰り返し発揮

メタ認知



生きて働く知識を創り出す過程で、
 資質・能力を発揮する

教科等横断的に「なりたい自分の姿」に
 近づくために必要な資質・能力を考
 えるようになる

他とのかかわりの中で、各教科の
 資質・能力を繰り返し発揮する



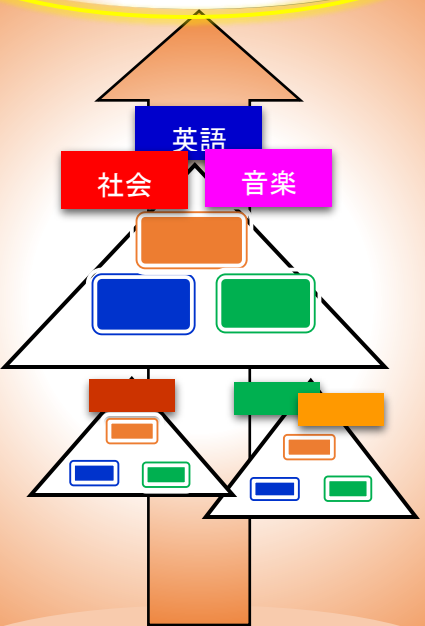
メタ認知

なりたい自分の姿

人間性等



教科横断的に自己の資質・能力の
 高まりを振り返る



各教科で学習内容を追究する中で、
 資質・能力を発揮する

総合的な学習の時間内・
 「生き方・学び方」の時間

各教科の資質・能力で身に付けた資
 質・能力を繰り返し発揮する

各教科の授業

当校の特色的な各領域（特別
 活動、道徳、探究等）の活動

「確かな学びを促す3つの重点」

パーソナル・ポートフォリオを活用
 した「生き方・学び方」の時間

当校の特色的な領域活動

「学習としての評価」の推進
 （ポートフォリオ的プログレスカード、
 新3観点評価、カリキュラムの明示化）

資質・能力の多面的な評価

カリキュラム・マネジメント